

令和7年10月28日開催 定例美祢市教育委員会会議録

開催日時 令和7年10月28日（火）午後1時30分から午後2時55分
開催会場 美祢市役所3階「301会議室」

出席者	南 順子	教育長	
出席委員	金子 明美	教育長職務代理者	
	松本 孝志	委員	
	井上 敏雄	委員	
	谷岡奈美子	委員	4人
欠席委員			なし
出席教育委員会事務局職員	千々松雅幸	事務局長兼生涯学習スポーツ推進課長	
	宇野 勇氣	〃 教育創生監	
	田中 美香	〃 教育総務課長	
	中島 幹晃	〃 学校教育課長	
	神田 高宏	〃 文化財保護課長及び世界ジオパーク推進課長	
	渡壁 誠	〃 学校教育課主幹	
	倉増 裕	〃 教育総務課総務班長	7人

（午後1時30分）

1 開会

事務局長 千々松 雅幸

それでは、皆さんこんにちは。

只今から、令和7年10月の定例教育委員会会議を開催いたします。

これよりの進行は教育長よろしくお願ひいたします。

教育長挨拶

教育長 南 順子

改めまして、皆さんこんにちは。

日中の日差しには温かさを感じるもの、急激な気温の低下とともに、風が冷たくなり、秋の深まりを感じるようになりました。

本日はご多用の中、10月定例教育委員会議にご出席をいただきまして、ありがとうございます。

さて、昨日は伊佐中学校の学校訪問、大変お疲れ様でした。

その前も於福小、大嶺中、美東小にも訪問していただき、各教育委員の皆様方から、授業参観を中心に、それぞれの学校の実態を的確にとらえられたご指導ご助言をいただき感謝申し上げます。

あと11月末までに5校の学校訪問がございますが、今後も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今月はたくさんのビッグニュースが飛び込んできました。

10月9日、中東のパレスチナ自治区ガザで、地元のイスラム組織ハマスとイスラエルがアメリカ等の仲介によりお互いの合意に基づき戦闘停止、やっと和平の道が開けたと思ったのも束の間、19日にはイスラエル側が攻撃を受けたので、仕返しをしたとのニュースが入ってきました。

各学校に配布している小学生・中高生新聞にもその記事が取り上げられています。

イスラエルの報復により激しい攻撃にさらされてきたガザはこれまでに6万7000人が犠牲となり、そのうち子供の犠牲者は2万人を超えると言われています。

負傷者は17万人、さらに50万人以上が飢餓状態で死と隣り合わせだそうです。

この読売中高生新聞ですが、生後8ヶ月の女の子が食べ物が足りずに母親の母乳が出ないため、重度の栄養失調に陥り、栄養失調の度合いを調べるこの命の腕輪で二の腕を計ると、すぐに入院と集中治療が必要な赤色に該当したと報じています。

何とか早急に治療を受けて、命が助かって欲しいと願わざにはいられません。

ぜひ、各学校でこのような記事を一人一人の子供たちの目の触れるところ、手に取られるところにおいて、子供たちが進んで読み、世界の出来事や社会情勢に关心を持って欲しいと願っているところでございます。

こういういろいろな記事が入っておりますけれども、学校訪問で新聞の置いてある場所や読んでいる様子を管理職に聞いてもなかなか浸透していないのが現状でございますので、ぜひしっかり活用するようにとお願いをしております。

うれしいニュースとして、2人の日本人が科学界最高の栄誉であるノーベル賞の自然科学3賞に輝きました。

ノーベル生理学医学賞には坂口志文大阪大学特任教授、そして、ノーベル化

学賞には北川進京都大学特別教授が選ばれました。

坂口教授は過剰な免疫反応を抑制する制御性 T 細胞の働きを突き止め、癌やアレルギー性疾患等の治療に道を開き、北川教授は環境やエネルギー問題の解決に役立つ新素材として期待されている極小の穴が無数に空いた多孔性配位高分子 PCP を開発、いずれも世界が直面している課題の解決に繋がるすばらしい業績ですが、お 2 人ともなかなか当初は独創的な研究が批判を浴び、不遇の時代が続いたと聞いております。

どんなことがあっても諦めずに粘り強く、ひたすら自分を信じ続け信念を貫き通し、人々に明るい希望を与えられた 2 人の研究者。「長い間苦労してやつてきたことが形になって本当によかったです。」と声を詰まらせながら、より喜びを語られた坂口教授が子供たちに向けて、「自分の興味を大切にすること。興味を持ち続けていろいろな試みをすると、洗練されて、新しいものが見えてくる。そういうことが起こればサイエンスに限らず、どんな分野でも面白いと思う。」とおっしゃってくださったお言葉は、ぜひ、学校現場で 1 人でも多くの子供たちに伝えたいものです。

また、坂口先生はご自分の子供時代の体験から、読書の大切さにも触れておられました。

昨日の 10 月 21 日から、11 月 9 日までが読書週間となっています。

まさに読書の秋を満喫して欲しいと思いますが、昨日の山口新聞に小中高保護者を対象とした調査で、1 日に全く本を読まない子供は、半数超 52.7% という結果が載っていました。

逆にスマートフォンの使用時間は伸びており、その使用時間が長いほど本を読む時間が短くなる傾向が見られるということです。

美祢市内小中学校でも 4 月の調査ではありますが、全学調の質問紙の回答では読書が好きと答えた子供が全体的に少なかったです。

今、全部の学校の調査結果を、グラフや表にしておりますが、ぜひこの機会に各学校で読書にしっかり親しむこと、その時に戦争に関わる本もしっかり読むことで、命の大切さ、命の尊さや人としての生き方も考えて欲しいと、今、学校訪問の際に話をしておりますし、明日の校長会でもしっかり伝えたいと思っております。

さて、前置きが大変長くなりましたが、以後着座にて会議を進めさせていただきます。

2 署名委員

教育長 南 順子

はじめに、署名委員の指名をさせていただきます。

本会議につきましては、谷岡委員と井上委員にお願いをいたします。

<両名了承>

3 前回会議録の承認

教育長 南 順子

前回会議録の承認につきましては、金子委員と谷岡委員にお願いいたします。

<両名了承>

教育長 南 順子 寄贈

ありがとうございます。

4 教育長報告

(1) 行事関係

教育長 南 順子

次に、行事関係について報告をいたします。

お手元の資料をご覧ください。

9月30日、美祢市教育功労者表彰式があり、2期8年間教育委員を務めいただきました山本亜由美様と、美祢市文化協会会長を10年間、美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会会長を8年間お務めいただきました松原良子先生に感謝状を贈呈いたしました。

10月17日、「恩愛の道」記念碑除幕式がありました。

「恩愛の碑」は皆様方ご存知と思いますが、平成28年に建立されたものでございます。令和7年の10月に建立されたの「恩愛の道」。長州藩士檜崎頼三と会津藩士飯沼貞吉氏の邂逅が残した「恩愛の道」記念碑の除幕式に出席をさせていただきました。

詳しい内容はお手元のプリントを読んでいただけたらと思いますが、会津白虎隊の中でただ1人生き残った飯沼貞吉が、長州藩士檜崎頼三の計らいで、2年間美祢市の東厚保町小杉地区で過ごしました。

1人生き残ったことを恥じる定吉に、再び生きる光を見いだすきっかけを与えたのが檜崎頼三でした。

長州と会津藩の怨讐を超えた人間愛には深い感動を覚えます。

この「あづさ弓のごとく」という苑場さんの書かれた本ですが、上下二巻が市内の小・中学校に配布されています。

「勝者は驕り高ぶらず、敗者は恨みの念にとどまらず、流された多くの血と命の上に己の今日があり、明日が来るのだと肝に銘じ、誠実に生きねばならぬ。」と、飯沼貞吉に語った檜崎頼三の言葉には、胸を打つものがございます。

檜崎頼三のおかげで、飯沼貞吉は、当時日本一の教育水準を誇っていた静岡

学問所で学間に励み、当時の工部省、こちらには逓信省と書いてありますが、そこに配属され、それからのすばらしい活躍は、まさにプリントに書いてあるとおりでございます。

最初の赴任地が下関で、そこに着任したとき、檜崎家に感謝の思いを届けるために通ったのが、この「恩愛の道」で、そこに碑が建立されております。

機会があれば、ぜひご覧になっていただけたらと思います。

10月23日に、美祢市戦没者追悼式が行われました。

310万人以上のかけがえのない尊い命が奪われた戦争から80年。戦争を体験された方、また戦争のむごさを知っておられる方の高齢化が進んでいるのを実感いたしました。

体験を通して、戦争の悲惨さやむなしさ、復興の難しさ、平和の尊さを伝えてくれる方が少なくなる中で、今の子供たちにそれをどう伝え語り継いでいくべきか、世界ではまだ戦争が続いている、核兵器を容認するような空気が一部ある中、私たちに課せられた課題は大きいと考えています。

いかなる理由があるにせよ、人々を殺し傷つけることは間違いであること、人間の世界で戦争は絶対にやってはいけないことを子供たちの心にしっかりと刻み込むため、今、自分ができることとして、市内の学校へ戦争について描かれている絵本の読み聞かせを行っているところでございます。

10月10日と20日に、豊田前小学校で読み聞かせをさせていただきました。低学年の子供たちには「かわいそうなぞう」の読み聞かせをし、戦争では、人間だけでなくたくさんの動物達の命も奪われたということ。また、中高学年の子供たちには「おりづるの旅、さだこの祈り」の読み聞かせをしました。これも私自身、初めて読んで知ったのですけれども、今、世界各国に、さだこのおり鶴が届けられて、アメリカでも、子供たちが記念の像を立てているという実話に基づいた物語です。

今、外部の方の読み聞かせは、いろいろな学校で取り入れているのですが、私は、やはり先生方が子供たちに読み聞かせをして欲しいと思います。

先生方の声で子供たちの心を豊かにして、また、感動体験をさせていただきたいというふうに願っているところでございます。

その他の行事につきましては、ご覧のとおりでございます。

何かご質問等があればお願いできたらと思います。

大変早口で申し訳ございませんが、よろしいでしょうか。

それでは、その他ということでございますが、これは質問ということも一緒にございます。

よろしくうございますでしょうか。

5 報告・議案

教育長 南 順子

では、5の議案の審議に移りたいと思います。

議案第64号、令和7年度（令和6年度事業対象）教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書の作成について、教育委員会事務局、千々松局長お願ひいたします。

教育委員会事務局長 千々松 雅幸

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項において、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならないと規定され、また同条第2項においては、当該報告書作成にあたっては、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図ることと規定されています。

この度、点検評価委員を委嘱している3名の学識経験者の意見を賜り報告書を取りまとめたため、教育委員会の承認を求めるものです。

今後は法律の規定に従い、市議会へ提出するとともに、市ホームページで公表する予定としております。

なお、これは、先般の教育委員会会議でご承認いただいた評価方針に基づいて行っております。

来年度につきましては、しっかり教育委員さんからいただいた意見をもとに成果指標とか、評価基準の明確化に努めて参りたいというふうに思っております。

それでは、説明をさせていただきます。

表紙をお開きいただきまして、目次を見ていただければというふうに思います。

1は点検及び評価の概要、2は教育委員会の活動状況に関する状況に係る点検及び評価、3は教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検及び評価です。

最後に参考として、6月21日開催の教育委員会会議でご承認いただきました、令和7年度の点検及び評価の実施に関する方針を添付しております。

内容について、ざっと説明をさせていただこうと思います。

2ページをご覧ください。1点検及び評価の概要についてです。

こちらにつきましては、冒頭説明したとおりでありますので説明を省略させていただきたいと思います。

続きまして、3ページを見ていただければと思います。2、教育委員会の活動状況に係る点検及び評価です。教育委員会会議の開催状況ですけども、令和6年度は毎月定例開催の教育委員会会議に加え、臨時の教育委員会会議を1回開催しております。合わせて13回開催し、議案68件、報告19件の審議を行っております。

4ページになります。意見交換等の状況ですが教育委員会会議においてテーマを掲げた意見交換等を行っています。

それを記載しております。

5から6ページをお開きいただければと思います。学校訪問の状況です。

教育委員会教育委員は学校現場の現状把握教育課題への対応のため、令和6年度においては、市内小中学校すべての学校16校を訪問しております。

続いて7ページですが、研修の状況についてです。

令和6年度における教育長、教育長職務代理者及び教育委員の研修状況を記載しております。

次に、8ページになります。その他の活動の状況ですが、市広報への掲載等、各種行事への参加状況を記載しております。

なお、総合教育会議につきましては令和6年度には開催をいたしておりません。

それから、9ページになります。3、教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検及び評価です。

点検評価の方針に基づき、第二次美祢市教育振興基本計画実施計画に掲げる取り組みのうち、158事業を点検及び評価の代表対象としております。

10ページから13ページには、事業の基本項目ごとにまとめております。

14ページになります。14ページの2、点検及び評価の実施ですが、点検及び評価の進め方を記載しております。

所管課において自己評価を行い、次に学識経験者の知見をいただき、教育委員会の最終評価、今後進めていくべき方向性を記載しております。

対象事業の評価と今後の方向性については、14ページから39ページまでに記載しております。

40ページをお開きください。評価結果になります。1、最終評価になります。

重要度に関する評価及び有効性を評価した結果、最終評価ではA評価131事業、B評価6事業、D評価2事業となりました。

これは再掲の19事業を除いたものになります。

41ページの今後の方向性については、事業拡大19事業、現状維持が108事業、期間を定めて見直し1事業、運営手法等の見直しが8事業、事業縮小1事業、期間を定めて終了1事業。事業完了1事業となっております。

42ページの今後の取り組みにつきましては、点検評価委員の知見を踏まえ、PDCAサイクルを実施することで、質の高い教育行政を行っていくこととしております。

以上で説明を終わります。

教育長 南 順子

それでは、議案第64号につきまして、質疑等があればお伺いしたいと思います。

市民への説明責任を果たすためホームページにも掲載されますので、ぜひ、貴重なご意見がありましたら承りたいと思います。

教育委員 井上 敏雄

前回も言いましたので同じ話ですね。来年度以降、少し見直しをしていただきたいなというのが前回言った話なのですけれど。

例えば、45ページ目に有効性に関する評価点というのがあるのですけれども、これと、その前の何ページにわたって書いてある内容を見たときに、例えば2つの施策の目標達成できたかっていう判断として、その目標になるものが、これ読んでいてどれが目標になるのかなど、多分調査してもらった3名にはさらに細かい資料が渡っているとは思うのですけれど。

これを一般の市民の方が見て、事業内容とあとは状況成果ですよね。

事業内容の中に、施策の目標っていうのが明確に書いてあるものと、何をもって何を目標としているのかというのがちょっとわかりにくい項目がいくつかあるのかなと思うので、もう少しプラスアルファが、公表するならいるのかなと思うのですけれども。達成できた、ほぼ達成できた、これ何割をもって達成できたかっていう話もあるのでしょうか、目標って何ってなった時に、ちょっと答えづらい資料のつくりなのかなと思って見ていましたのですけれど、いかがでしょうか。

教育長 南 順子

千々松局長、お願いします。

教育委員会事務局長 千々松 雅幸

目標につきましては、大きなところで言うと、例えば主な取り組みとかの上のところに、基本目標の1は生きる力を高め、将来を担う人づくりとか、基本施策の1が学校運営の質を向上させるよ、その中の項目として、安全安心して学べる環境の充実っていう大きな目標は掲げているのですけれども、それぞれの具体的な事業に係る、具体的な目標といいますか、少しわかりにくいのかなというふうに思っております。

3名の点検評価委員さんがいます。

点検評価委員会を2回開催しております、それぞれの事業について説明をしております。

評価委員さんには、これ以上詳しい資料はお渡ししておりません。

口頭での説明と、説明した上で、わかりにくいようなところがありましたらご意見を伺い、質疑を受け付けて、後の御説明をさらにしていくというようなところですが、基本的にそれを1回目になります、2回目のときには、その事業に対する意見を言葉に表せないところも含めて、いろいろお聞きしているというような状況となっております。

公表するということで、市民の方に分かりやすくするための改善は、来年度に向けて行って参りたいというふうに思います。

教育委員 井上 敏雄

今まで公表されているじゃないですか。それに対して、市民から何かコメントとかあるのですか。

教育委員会事務局長 千々松 雅幸

私が記憶している限りは、一度もございません。
議会にもお渡ししています。

教育長 南 順子

よろしいでしょうか。
はい、どうぞ。

教育長職務代理者 金子 明美

それぞれの項目に向けて、概ねよい評価であったなというふうなことを思いました。

それが1点目、それから、知見の欄のところが具体的でわかりやすいなというふうにと思いました。

それから、評価を受けて、今後の取り組みというところなのですが、よくまとめられているなっていうふうなことを思いました。

ちょっと、個人的なところなのですが、事業縮小のところが81番、花づくりなのですよね。花づくり大事な事業なのですけれども。

本当に今気候が大変不順で、苗づくりとかが今まで以上に大変ご苦労されているのじゃないかなっていうこと。

それで、やはり苗の数が少なくなってきて難しいところがあるというふうな、知見にそういうことが書かれていたのですけれども、やっぱり道路とかいろんなところに花があるっていうのは、とてもいいのではないかなあというふうなことで、いろいろ、事業を進めるにあたって、大変な面があるとは思いますが、事業縮小、廃止ではないので、圧縮しようということなので、細々ながら外から来られる方にも、それから私たち市民にとっても潤いのある環境づくりには、残していただけるとありがたいなと、その点につきまして、すみません。

教育委員会事務局長 千々松 雅幸

点検評価委員さんの知見と私たちがこう思っている部分とうまく合致している点もあるのですけれども、近年本当に猛暑であったりして、苗を育てるのも大変ですし、植えた後の水やりと言ったところで、非常に苦慮しているっていうのが、作業員の方にも大変な思いっていいますか、労働をしていただいているというふうに思っております。

特に、住民の方が主体となって行われる花壇の整備は継続して行いたいと思っているのですけれど、業者さんに委託して管理をしていただいているような箇所が何ヶ所かありますて、そういったところに本当に水がなくて、水やりに

苦慮して結局枯れてしまうというような状況になっているので、そういったところは、少しもう見直しをしていかざるをえないのかなというふうに思っているところです。

決して廃止ではないので、そういったところを少し縮小していこうかなというふうに思っているところです。

教育長 南 順子

他に、何か委員の皆様方からご質問やご意見がありましたらお願ひいたします。ここについてもそうですけれど全体的な感想でも構いません。

谷岡委員さんどうぞ。

委員 谷岡 奈美子

ジオガイドの研修スキルアップは、ジオパーク推進のために重要ということなので、今後ともぜひよろしくお願ひしたいと思っているところです。

教育長 南 順子

神田課長、お願ひします。

ジオパーク推進課長 神田 高宏

ガイドの定例会、研修会は行っています。特に、ジオガイドさんが集まって、自主的にやられている研修会等もありますので、そういったところが成果というか、非常にいい取り組みとして、令和6年度の状況にあげさせていただいております。

教育長 南 順子

他に、何かお気づきのこと等ありましたら、全体的なことで結構でございますが、お願ひいたします。

しっかり、よく見ていただきありがとうございます。

松本委員。

委員 松本 孝志

1つだけ。

私学の振興運営費補助事業がありますが、私学振興のため補助金は必要と考えるが補助金の使途については、明確にしていただきたいという文章が知見であるのですけど。

これおそらく去年もあった、ずっとあるのじゃないかなと思ってですね。継続して見る人は全然ずっとそのところが、何も示しされてない状態で何年も続いているのかなって見られる人がいるのかなと思ってですね。ちょっとこの文章が気になったのです。P16ページの18番

ちょっとあんまりおそらく見られないと思うのですけれど。
ちょっと気になりました。

教育委員会事務局長 千々松 雅幸

これまで、成進高等学校への補助金1,380万の使途が、具体的に何に使われているかはよくわからないよねっていうようなご意見いただいている、でも、その旨は成進さんにもしっかりと伝えておりまして、今はその補助金の申請時や、実績報告をいただくときにもこういうお金、こういうことにお金を使いたいのですっていうようなことがわかるようになっていますので、学識経験を有する委員さんへのちょっと説明が足りなかつたのかもしれません。

すみません。

委員 松本 孝志

了解しました。

教育長 南 順子

確かにこの項目は学識経験を有する者の知見ということになっておりますので、意見としてこう書いていただいているので。

委員 松本 孝志

それが毎年同じで、変化していないととらえられるかなと思いましたので。

教育長 南 順子

よろしいでしょうか。

いろいろご意見をいただきましてありがとうございました。

それでは一応、議案第64号の質疑は終了させていただきます。

お諮りします。

議案第64号、令和7年度（令和6年度事業対象）教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書の作成につきまして御承認いただけたらと思います。

御承認いただけます方は挙手をお願いいたします。

<全員挙手>

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。

全員賛成ということで承認されました。

続きまして、議案第65号、美祢市学校給食運営協議会設置要綱の一部改正

について教育総務課、田中課長お願ひいたします。

教育総務課長 田中 美香

美祢市学校給食運営協議会は、学校給食の適正かつ円滑な運営を図ることを目的として設置をしているものです。

公会計の導入や秋吉学校給食共同調理場の美祢市学校給食センターへの統合などに対応するため、本要綱の一部改正について教育委員会の承認を求めるものです。

以上です。

教育長 南 順子

議案第65号につきまして、質疑があれば承りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

議案第65号の質疑は終了させていただいてよろしゅうござりますでしょうか。

では、議案第65号、美祢市学校給食運営協議会設置要綱の一部改正について、説明のとおりご承認いただけますでしょうか。

ご承認いただけます方は、举手をお願いいたします。

<全員挙手>

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。全員賛成ということで承認されました。

議案第66号、美祢市学校給食栄養士部会設置規程の一部改正について。

教育総務課、田中課長お願ひいたします。

教育総務課長 田中 美香

美祢市学校給食栄養士部会は、美祢市学校給食運営協議会設置要綱で定める専門部会として設置をしているものです。

ご承認いただきました美祢市学校給食運営協議会設置要綱の一部改正に伴い、協議会の専門部会である美祢市学校給食栄養士部会の実情に対応するため、本規程の一部改正について教育委員会の承認を求めるものです。

以上です。

教育長 南 順子

では、議案第66号について質疑等があれば承りたいと思います。

よろしいでしょうか。特ないようですので、議案第66号の質疑は終了させていただきます。

お諮りいたします。

議案第66号美祢市学校給食栄養士部会設置規程の一部改正について、説明のとおりご承認いただけますでしょうか。

ご承認いただけます方は、挙手をお願いいたします。

<全員挙手>

教育長 南 順子

ありがとうございました。

それでは、全員賛成ということで承認されました。

では議案第67号、令和8年度美祢市立小中学校教職員人事異動方針について学校教育課、中島課長お願ひいたします。

学校教育課長 中島 幹晃

議案は4ページ5ページ、資料は3ページです。

令和8年度の山口県公立小中学校及び県立学校教職員人事異動方針を受けて、別添により、令和8年度美祢市小中学校教職員人事異動方針として策定し、市内教職員に示したいので承認を求めるものでございます。

教育長 南 順子

それでは、議案第67号について質疑等があれば承りたいと思います。

井上委員お願いします。

委員 井上 敏雄

どこがどう変わったかっていう説明してもらえれば。

教育長 南 順子

中島課長、お願いします。

学校教育課長 中島 幹晃

議案の5ページ、大きく左側に丸案とあるところをご覧ください。

まず、県の方の方針は、変わっておりません。

ですが、より美祢市らしい文言を少し入れておりますので、そこの御説明をいたします。

まず、2行目、教育委員会が目指す「いじめゼロ、不登校ゼロのウェルビーイングな学校づくり」。

それから、これは以前から似たような表現はあったのですが、3行目、子供たちの主体性や意欲を育む教育活動を展開する。

それから、4行目の最後から5行目、地域とともにある学校づくりや魅力ある学校づくりを推進。

このあたりが新たに加わったり、若干表現が変わったりしているところでございます。

それから、下の大きい一番、これも若干言葉が変わったところですが

本市が推進する児童生徒の主体的活動のある授業づくりや小中一貫教育、ICTを有効活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進に向けて積極的に取り組むことができる人材を配置する。

このような、美祢市が推進している方針を人事の方針にも反映しているところです。

最後に、大きい一番の下から2行目、またからです。

また、美祢市の場合は、特に中学校は1つの教科に1人しか先生がその学校におられないというような状況がございますので、このような表現を付け加えております。

職員定数や教科の関係上、7年に満たないものについても異動の対象となることがある。

主な変更点や、修正点は以上です。

教育長 南 順子

よろしいでしょうか。

他に、何かご質問やご意見等があればお願ひいたします。

では、特にないようですので、議案第67号の質疑は終了させていただきます。お諮りいたします。

議案第67号、令和8年度美祢市立小中学校教職員人事異動方針について、説明のとおりご承認いただけますでしょうか。

ご承認いただけます方は、挙手をお願いいたします。

<全員挙手>

教育長 南 順子

ありがとうございました。

全員賛成ということで承認されました。

6 協議報告等

教育長 南 順子

それでは、議案が終わりましたので、6番目、協議報告に移りたいと思います。

教育総務課からお願ひいたします。

教育総務課長 田中 美香

教育総務課からは、2点ほどございます。

まず1点目に、市立小中学校適正規模適正配置基本方針説明会のご報告についてでございます。

10月の6日の月曜日から4日間、美東地域を除く市内の各学校運営協議会において御説明をし、意見交換をさせていただきました。

いただいた意見を集約した概要は、資料として先に送付をさせていただいたとおりでございます。

説明をした内容につきましては、抜粋した方針を資料とし、人口減少の現実を踏まえて、学校の適正な規模を御説明し、様々なご意見、ご要望、ご意向などを十分考慮した上で、魅力ある学校づくりの実現のため、よりよい学習環境整備を最優先課題として取り組むことと、それぞれの地域に応じた現状等々、今後の見通しについて、お伝えをしたところでございます。

教育委員の皆様のご感想等がございましたら、いつもどおりでございますが、会議の終了後、少しお時間をいただきてお伺いをしたいと考えております。

よろしくお願ひします。

続いて2点目、県立高校再編整備計画後期実施計画の素案についてでございます。

資料は事前に送付をさせていただきました。

先に報道等でもご覧になられたかと思いますが、県立高校再編整備計画後期実施計画の素案が発表されたところでございます。

本市の美祢青嶺高校につきましては、4ページに記載があり、学科再編ということを検討されているようでございます。

この素案に係る地域説明会は、市民会館において、11月の17日月曜日に開催され、パブリックコメントの実施などのチラシもつけておりますので、参考までにご覧いただけたらと思います。

以上です。

教育長 南 順子

それでは、一番のことにつきましては、今課長が申しましたが、会が終わりましてからいろいろご意見を承りたいと思います。

2番目の県立高校再編整備計画後期実施計画等について、何かご質問等がありましたらお願ひいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、教育総務課の報告は終わらせていただきます。

教育長 南 順子

続きまして学校教育課お願ひいたします。

学校教育課長 中島 幹晃

全体的なご報告はございません。

教育長 南 順子

会議が終わりましてから、お願いいいたします。

それでは、生涯学習スポーツ推進課お願いいいたします。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

生涯学習スポーツ推進課からは、2点、1点報告と1点ご案内をさせていただければと思います。

1点は、10月13日に開催した第18回市民スポーツ大会ニュースポーツフェスティバルドッヂビー大会についてであります。

宇部サンド美祢球場で開催をしております。

ニュースポーツには約150名の方が参加、ドッヂビーには106名の方が参加していただいております。

参加者の皆さんのがニースポーツもモルックやティーボール、キックボウリングあるいはタグラグビー、そういったものに親しんでおります。

非常に天気も良く、子供たちもとても楽しんでおりました。

以上報告です。

それともう1点は、本日机上に配布しておりますけれども、令和7年度の生涯学習フェスタについてです。

11月の1日、2日に市民会館等で行いますので、オープニングイベントにはご都合悪い委員さんもいらっしゃるかもしれません、どこが覗いてみていただければ、というふうに考えております。

以上です。

教育長 南 順子

今、生涯学習スポーツ推進課の方から報告がございましたが、ご質問等ありましたら、お願いできたらと思います。

よろしいでしょうか。

では、今、局長も申しましたけれども、11月1日、2日の生涯学習フェスタ、1人でも多くの方に、市民の皆様が頑張ってこられた学習の成果を見ていただいて、ともに感動していただければということで、ぜひご来場いただけたらと思います。よろしくお願いいいたします。

では、続きまして文化財保護課お願いいいたします。神田課長。

文化財保護課長 神田 高宏

文化財保護課からは、1件ご報告させていただきます。

10月12日、日曜日に美祢市立図書館前の蒸気機関車移設作業に合わせまして、

「C58蒸気機関車引っ越し大作戦」というイベントを開催いたしました。

当方は、蒸気機関車愛好家の方によるC58蒸気機関車や美祢線に関する講演、蒸気機関車や美祢層群の化石をデザインした缶バッヂづくり、美祢線を走った蒸気機関車などの写真展示を行いました。

実際の移設作業は、動画をご覧いただけたらと思います。

この映像は、教育総務課の倉増班長に作成していただいた映像になっております。

ご覧いただいたように、蒸気機関車を二分割して移設しております。

これは、10月12日に実施いたしました。

翌月10月13日午前中に、炭水車を同じように移設しております。

こういった移設作業を公開するのは非常に珍しいということで、県内外から多くのお客様が、見学に来られております。

今後は柵などの外構工事を行いまして、3月には完成する予定となっております。

文化財保護課からは以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

ご感想がありましたら。

よろしいですか。

それでは、続きまして世界ジオパーク推進課お願いいたします。

神田課長。

世界ジオパーク推進課長 神田 高宏

世界ジオパーク推進課からは、2件ご報告させていただけたらと思います。

まず1件目が、漢灘江国際フォーラムの開催についてです。

10月16日から19日の4日間、韓国の京畿道というところにあります漢灘江ユネスコ世界ジオパークで2025漢灘江悠久の森ユネスコ国際指定地域国際フォーラムが開催されました。

中国、香港、タイ、フィリピン、ベトナムなど、アジアを中心に多くの関係者が集まりました。日本からもMine秋吉台ジオパークを含めまして、13地域、27名が参加しております。

漢灘江ユネスコ世界ジオパークは、2020年にユネスコ世界ジオパークに認定されております。

漢灘江ユネスコ世界ジオパークは、約100万年前に始まった、3回にわたる粘り気の少ないマグマの噴出によってできた大地での人々の生活や歴史、生態系などを伝えていきます。

漢灘江、これは川なのですが、この護岸には玄武岩質溶岩、サラサラの溶岩なのですが、その柱状節理、柱状に固まった溶岩が至るところで見られます。

このジオパークの国際的価値の1つは、溶岩流が当時の川に沿って流れまして、河川の水と触れて枕状溶岩となっていることが挙げられます。これによつて、かつての河川の位置が判明しております。

通常その枕状溶岩っていうのは、海岸で生成されることが多く、内陸で見られることは非常に珍しいことです。

漢灘江ユネスコ世界ジオパークの溶岩によってできた平らな大地は、肥沃な農地として、米や大豆などを栽培しています。

しかし、この大地は北朝鮮に位置する火山から流れ出た溶岩でできており、漢灘江も北朝鮮を源流として、韓国に流れ込んでいます。

この大地は軍事境界線、いわゆる38度線で分断されておりまして、軍事境界線から2キロまでのDMZ、非武装地帯には入ることができず、農地としても利用もできません。

しかしながら、このDMZには人が入れないことにより、貴重な自然が残されています。

今回のフォーラムでは、ベトナムのドンヴァンユネスコ世界ジオパークのスタッフとの意見交換や、エリア内にカルスト地形のあるフィリピンボホール島ユネスコ世界ジオパークのスタッフとの草原の保全についての意見交換等ができたことは、今後のグローバルな活動に繋がるものと考えております。

また、日本国内のジオパークメンバーとも、様々な意見交換ができたことも非常に有意義であったと思います。

正面の画像を見ていただけたらと思います。

まず、漢灘江ユネスコ世界ジオパークですが、韓国の上の方にあります。濃い青で囲った部分、あの辺りが漢灘江ユネスコ世界ジオパークの位置になります。

上の緑の部分は北朝鮮になります。

こちらは漢灘江の護岸になります。

ちょっと見づらいのですが、護岸を見ていただけますと、柱上に固まった黒い溶岩が見て取れるのではないかと思います。

こちらはですね、溶岩が固まった部分、上方から水が流れ滝になっており、名所になっているところですね、見ていただけると何となく柱上の溶岩が上からぶら下がっている様子が見えるかと思います。

こちらはですね、漢灘江の川にかかるY字をした吊り橋です。

この地域では、この一帯を山口県で言うと、きららドームのあたりのような、そういったイベントができるようなスペースとして活用しています。

加えて、こういった橋を作ったり展望台を作ったりして、多くの人が集まるような施設を作り、集落につなげています。

このY字の吊り橋もけっこう揺れて、怖いつり橋ではありました。

こちらは平和展望台というところになります。

この展望台は、非武装地帯のちょっと外側に位置する展望台であります、

非武装地帯を眺めることができます。

右側の下には朝鮮戦争当時ですかね、使われていた戦車の展示等もございました。

これは、展望台から北朝鮮側を眺めた風景になります。

森のあたりはもう非武装地帯ということで、何も手がつけられない、地域です。

これは、また別の展望台からの風景なのですが、非武装地帯の外側には民間統制区域というのが設定されています。

この民間統制区域には、軍人と農家、あとは公務員しかいません。

この大地も肥沃な農地として、主に米づくり等が行われております。

これは会場になります。

真ん中の辺りですね、Mine秋吉台ジオパークの幟旗が見えるかと思います。

実はその奥にはですね、ドンヴァンジオパークの幟旗が立っております。

こちらは、向かって左の方が、韓国ジオパーク委員会の代表の方になります。

この方はですね。2018年に秋吉台で国際シンポジウムを開催したときに来られて、講演もされております。

Mine秋吉台ジオパークに来られたことも覚えておられ、いろいろお話をさせていただきました。

右下の方は、こちらはドンヴァンのスタッフの方になります。

隣にベトナムのブースもありましたので、いろいろな話をさせていただきました。

こちらはですね、国際シンポジウムでの活動発表になります。

Mine秋吉台ジオパークにおける、地域活性化のためのツーリズムというタイトルで、谷岡委員と私とで発表しております。

こちらはですね、日本ジオパークネットワークのブースで、アンモナイトのレプリカづくりっていうのをやっております。

非常に好評で、小さいお子さんも楽しまれておりました。

画像は以上です。

今回、漢灘江ユネスコ世界ジオパークを訪問させていただきまして、スタッフの方がおっしゃられていましたが、地質地形に国境はなく、漢灘江ユネスコ世界ジオパークは、ジオパークの活動を通して、韓国と北朝鮮の関係修復の一助になることを目指しているっていうことをおっしゃいまして、非常に感慨深く、意義深いことだなというふうに感じたところです。

続いて2点目です。

ジオフェスの開催についてということで、チラシを配布させていただいているかと思います。

11月16日の日曜日に、カルスター及び周辺でジオフェス秋祭りを開催いたします。

トゥクトゥクの送迎によるジオツアーや、ベトナムの伝統的な傘のノンダーっていうのですが、ノンダーを使ったキーholderづくり、メダルの鋳造体験などの体験メニューや神楽舞の披露、太鼓の演奏などを実施する予定としております。

会場では、季節の食材を使用した様々なメニューも販売しておりますので、ぜひお越しいただけたらと思います。

ミニチュアのこのノンダーっていう傘を使ったキーholderづくり等も、体験メニューとして始めてみたいと思っております。

以上です。

教育長 南 順子

大変お疲れでございました。ありがとうございました。

谷岡委員さんも行かれましたが、ご感想があればお願ひします。

委員 谷岡 奈美子

本当に今回は、大変貴重な機会をいただきましてありがとうございました。

神田課長からもご説明あったように本当に国内外のいろいろなジオパークの方々と交流したり、いろいろな方の発表で取り組みについてもお話を聞ける大変貴重な機会となりました。

教育に関する発表もたくさんあって、子供たちに向けた放課後の講座ですか児童センターで講座を行っていたりとか、あとまた高齢化が進む地域での高齢者に向けた講座とか地質サイトをめぐるツアー等。

地元の方が、あまり行ったことがないという方が多いらしくて、そういう方に向けたツアーですとか、あとクッキングプログラムを通して、地域の文化、地形風土に対する理解を深めてもらう等、いろいろな取り組みをされていました。

これから、美祢の活動にも生かせるような取り組みがたくさんあったんじゃないかなと思うので、ぜひ神田課長さんをはじめ、皆様に頑張っていただいて、ジオパーク活動が今後も盛り上がっていけばいいなと思います。

ありがとうございます。

教育長 南 順子

どうもありがとうございます。

ぜひ、今後もよろしくお願ひいたします。

今、この秋祭りジオフェスの紹介がありました、実はこの裏に、ジョアナさんが「Mine秋吉台ジオパークがユネスコ世界ジオパークになったらどうなるの」と連載されていますが、ぜひこれもまた皆さんに読んでいただけたらと思っております。ジョアナさんの視点で大変参考になることが書いてありますので、よろしくお願ひできたらと思います。

神田課長さん、そして、谷岡教育委員さん本当にお疲れでございました。
ありがとうございました。

7 教育委員からの提案及び意見

教育長 南 順子

それでは、一応各課からの報告は終わりましたけれども、全体を通して何か教育委員の皆様方からご意見とか、またぜひ、こういうことをしたらどうかというご提案等がありましたら、お願ひできたらと思います。

よろしゅうございますでしょうか。

すみません。紹介がちょっと遅れましたが、実は前回、教育魅力化推進員のことについてちょっとお話をしまして、今、2人ほど来て活躍をしてくれているのですが、そのうちの1人の坂本陽香さんが、山口新聞の東流西流にずっと、毎週日曜日に記事を書いております。自分の思いをしっかり書いておりまし、自分がこの美祢市教育魅力化推進員として子供たちにどういうふうに関わっていくか、そして、また自分自身の成長にもつなげていきたいということで、本当に読んでみて、私自身も感動することが多いので、教育委員の皆さんにお読みいただけたらと思い、コピーをさせていただきました。

あと読書に関するここと、これも先ほど申しました山口新聞のものです。

何か教育委員の皆様方全体を通じて、ご意見等ありましたらお願ひしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

はい、では、大変お疲れでございました。それでは、事務局の方にお返しいたします。

8 次回の教育委員会会議の開催予定

事務局長 千々松 雅幸

それでは、11月の定例会議についてであります。

11月の教育委員会会議は、11月26日水曜日13時半からこの301会議室で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<全員了承>

閉会

事務局長 千々松 雅幸

以降の予定については記載のとおりであります。

それでは、以上をもちまして10月の定例教育委員会会議を終わりたいと思います。

大変お疲れでございました。

(午後2時55分終了)

令和　　年　　月　　日

教育長

委　員

委　員

会議録作成